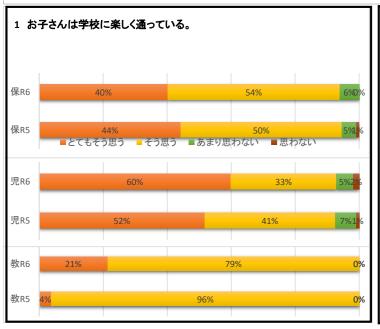
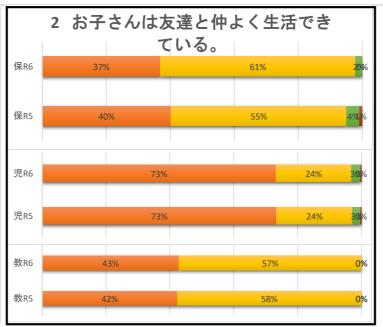
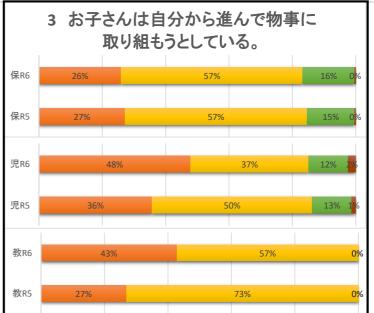
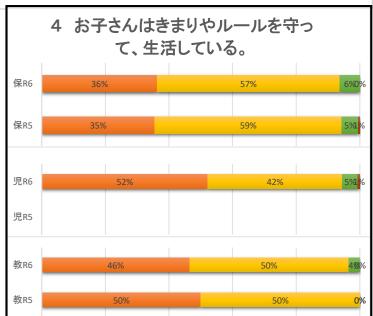
令和6年度「教育に関するアンケート」の結果報告

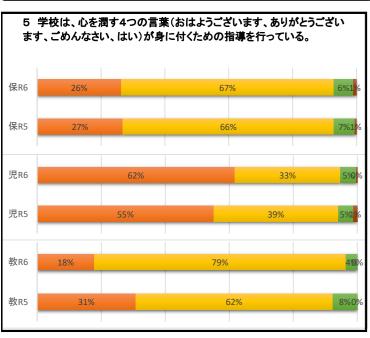
昨年11月、保護者の皆様にご協力いただきました「大宮小の教育に関する保護者アンケート」、「児童のアンケート」の結果、教職員による自己評価の結果とを合わせ、総合的に分析した今年度の大宮小学校の自己評価について報告します。

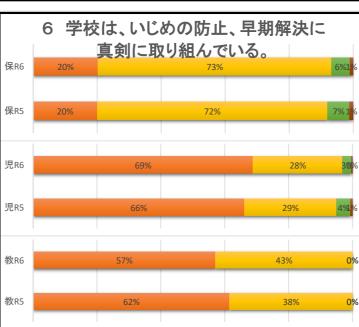


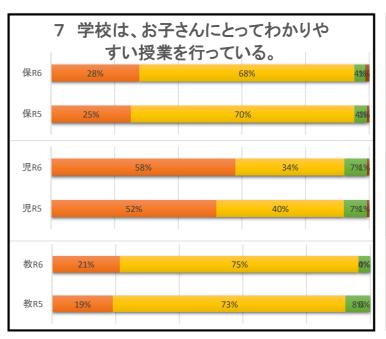


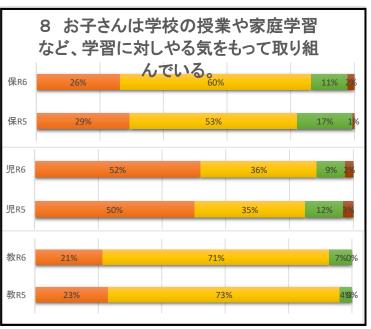


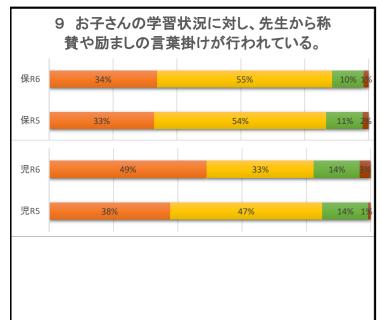


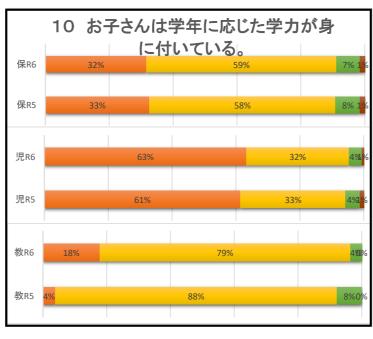


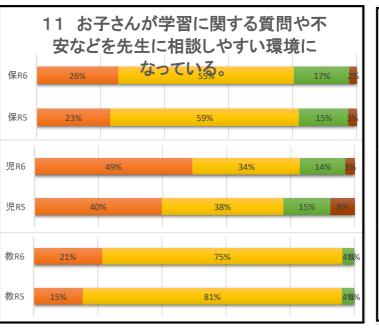


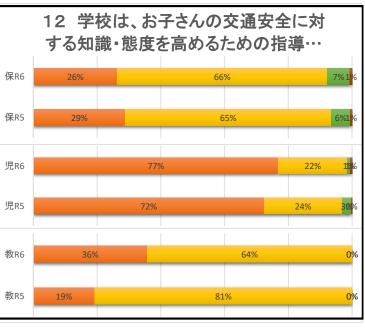


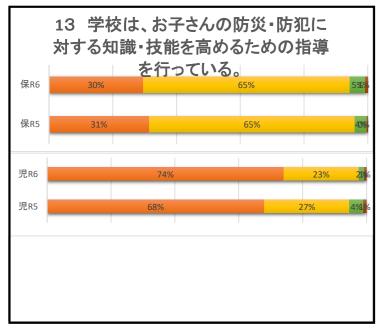


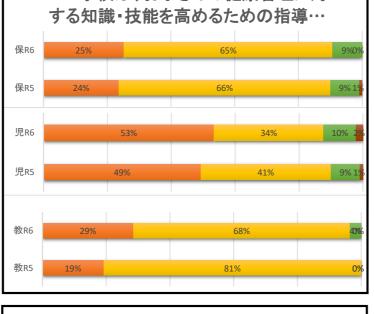




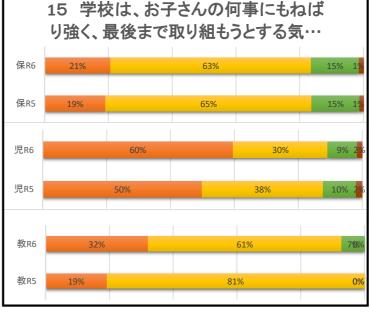


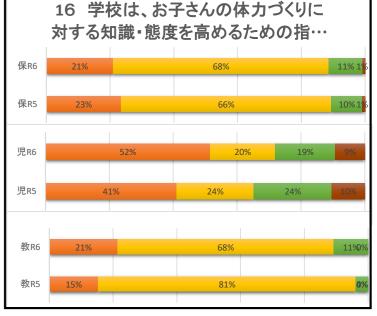


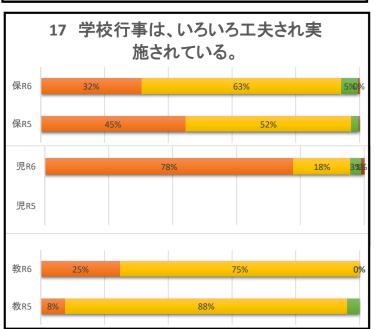


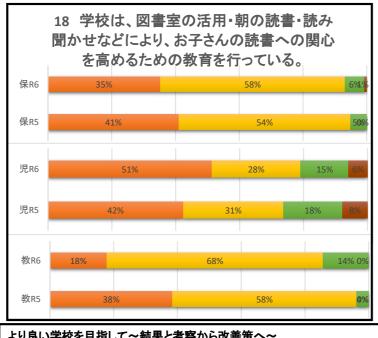


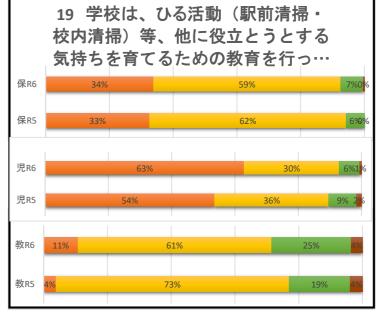
14 学校は、お子さんの健康管理に対

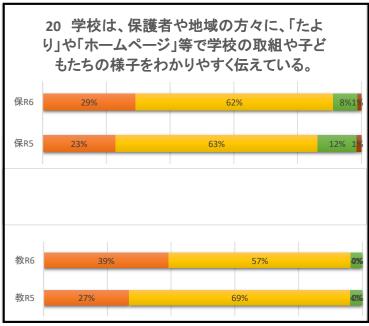


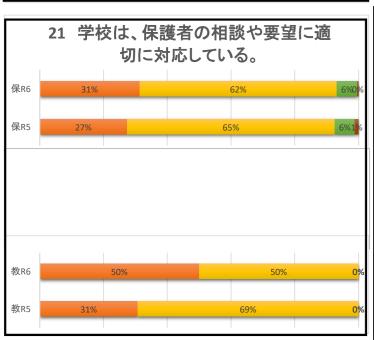












より良い学校を目指して~結果と考察から改善策へ~

- 1 評価結果について(以下示す数値の%は肯定的な回答率)
- ・ほぼ全ての項目において、肯定的な回答の割合は昨年度と大きな誤差無し、あるいは上昇している。
- ・設問3「自分から進んで物事に取り組もうとしている」は、教職員が100%に対し保護者、児童は80%強となっている。 保護者目線では、まだ主体性が足りていないという判断がされているのではないか。
- ・設問5「心を潤す4つの言葉」では、教職員の割合が4ポイント上がり、97%となっている。代表委員が取り組んだキャ ンペーンの効果がでたとも考えられる。
- ・設問9「先生から称賛や励ましの言葉かけ」の割合は80%台にとどまっている。90%を超えるように、より意識的に称 賛や励ましを教職員がしていく必要がある。
- ・設問16「体力づくりに対する意識」では、児童の割合が72%にとどまっているが昨年度より7ポイントアップしている。85%以上に なっていけるように、授業を中心とした改善をしていく。

〈児童の回答結果から〉

- ・設問1「学校に楽しく通えている」の93%のうち、「とてもそう思う」が8ポイント上昇している。→そこに関連すると考えられる設問を 見ると、「とてもそう思う」の割合は設問3は12ポイント、設問5は7ポイント、設問7は6ポイント、設問9は11ポイント、設問11は9ポ イント、設問19は9ポイント上昇している。
- 2 次年度に向けた具体的な改善策について
- ・設問6いじめ防止、早期解決への取組については、児童、保護者から否定的な回答が一定の割合いることを真摯に受 け止める。
- ・設問11「相談しやすい環境」は児童の受け止めは良好だったが、児童保護者の20%程度、教職員も数%十分ではな いとの受け止めがあり改善を要する。
- ・設問20, 21情報発信、要望への対応については、肯定的な回答が多いものの、一定数否定的な回答があることを注

学校運営協議会での話合い

(1)学校教育改善アンケートの結果

- ・令和6年度の保護者は少し厳しい評価が多い。特に設問17「学級行事はいろいろ工夫され実施さ れている」の割合が減っている。昨年度との比較で150周年記念行事や、持久走記録会がなくなった ことが要因とも考えられる。
- ・教員の評価が、学習面に関する設問7「学校はお子さんにとってわかりやすい授業を行っている」は 控えめなのかやや低い。とてもそう思うの割合が低くなるのは、よりよい授業改善を狙っているという 見方もできるのではないか。
- ・児童と、教員との感覚の差異がある。相談のしやすい環境の割合が低い要因として、しにくい先生と いうよりも、相談する時間がないことがあるのではないか。担任以外の誰でも相談できるという雰囲気 を浸透させたい。

(2) その他

・アンケートを匿名にしてもらえると、回答しやすい。次年度の案内方法で検討する余地がある。